

## 手作りレモネードいかが 留学生らが模擬店



広島工業大



来店客に笑顔でレモネードを手渡す劉さん(右)



3年  
丸山悟

広島工業大(広島市佐伯区)で4、5の両日、開かれた文化祭「工大祭」で、同大協定校の中国・瀋陽航空航天大の留学生4人と広島大の国際交流ボランティアの学生6人が、模擬店で手作りのレモネードを販売した。

工大祭では、新型コロナウイルス禍で見合わせていた模擬店の出店を4年ぶりに再開。「留学生とともに工大祭を盛り上げよう」と国際交流センターが出店した。

会場では、10人がレモンやサイダーを混ぜて作ったレモネードをコップに入れて販売。留学生たちも「お待たせいたしました」「ありがとうございます」などと日本語を使いながら笑顔で接客していた。2日間で約200杯が売れ、最後は売り切れとなった。

「中国にはこのようなイベントが滅多にないため、日本の漫画で見た文化祭に参加したいと思ってきた」留学生の劉朝陽さん(20)。「交流の場で、サービスや笑顔を大切にする日本の文化に感動した」と話していた。